

第24回 潮来市民ゴルフ大会 結果

11月20日(水)、ジェイゴルフ霞ヶ浦において、第24回潮来市民ゴルフ大会が開催されました。小雨が降る中ではありますが、182名の参加者により、熱戦が繰り広げられました。

また、社会福祉活動に役立ててもらおうと、参加者からチャリティーとして寄せられた収益金18,200円が潮来市社会福祉協議会に寄付されました。

一般の部	優勝	坂本 明生
	準優勝	村田 茂穂
	第3位	町田 茂
	ベストグロス賞	高橋 修也

レディースの部	優勝	堤 朝子
	準優勝	長峰 恵理香
	第3位	岡里 雅子
	ベストグロス賞	中嶋 真実

シニアの部	優勝	小林 一雅
	準優勝	三宅 正信
	第3位	吉川 博美
	ベストグロス賞	伊藤 司



まちづくり・潮来の自然と歴史を知る

潮来市の誇れる文化 第148回

天王河岸の常夜燈

常夜燈は昭和十四年(一九三九年)に建立されたもので、元は四丁目天王河岸際に建っていました。燈籠左側面に五人の寄進者と社司・社掌・石工の名が刻まれています。材質は白御影石(稲田石)で、上部はビシャン仕上げ、下部はゴブ出し仕上げになっています。

「献灯」と刻まれていることや鳥居横に建てたことから、天王様への奉納の証として建てられたと思われます。

天王河岸は、かつて入り口は幅約六十mで、奥約五十mから幅約二十mと狭くなっていました。奥から約三十mの所より幅約十mの連絡水路が西に延び、隣の船入場に接続していました。数多の農船(さつぱ舟)が農作業のために出入りする河岸として、また交通の手段や生活する上でも重要な河岸でした。河岸前の大きな江間(エヌマ)は、一重合・波逆地区を流れ十番地区に通じていました。特にこの河岸は、文治四年(一一八八年)に素鷲神社が天王原(辻)から遷座された地で、天王河岸の河岸名も素鷲神社つまり天王様によるものです。その天王河岸は、昭和三十年代まで素鷲熊野神社の例大祭の折に、お浜下りの川もみ神事が行われていました。

昭和五十四年の天王河岸埋立、天王橋の建設に伴い、常夜燈は四丁目会館裏の前川沿いに移転されました。常夜燈建設からちょうど四十年目のことでした。

平成二十三年三月の東日本大震災による倒壊から、地区の方々が復旧に努められ、約五十m北方の四丁目御飯殿側に平成三十年に移転されました。高さは約五m三十cm余りの身の丈を誇る凛とした美しい常夜燈です。

(参考)

四丁目山車写真集 終和且平

『ふるさと潮来』第二十四輯

『水郷の民俗』第十二号

潮来市文化財保護審議会 委員 石津 藤好



現在の常夜燈



在りし日の天王河岸